

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第24報～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年9月16日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Cryptomonas* sp.  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。

動物プランクトン第1優占種



ゴミです。

*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のクリプトモナスが最も多く、次いで小型の緑藻のキルクネリエラやセネデスマスが多く見られた。キルクネリエラは、三日月形の細胞が集まって群体を形成する種で、以前から琵琶湖で見られた種である。動物プランクトンは、ハネウデワムシ、カメノコワムシなどが多かった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	95

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Keratella cochlearis</i> var. <i>macracantha</i>	40

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年9月16日

第24報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis novacekii</i> *	1		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	220		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Kirchneriella contorta</i>	160		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	10		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	10		
(緑) <i>Scenedesmus circumfusus</i>	80		
(緑) <i>Scenedesmus grahneisii</i>	40		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	40		
(藍) 藍藻綱	1	0.1	3.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	20	3.0	12.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	41.6	72.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	372	55.3	11.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	673	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	5.29E+05
種 類 数	11		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。